

米国超長期プライム社債ファンド（奇数月分配型） 〈愛称 USプライム〉

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2023年5月15日）第2期（決算日 2023年7月18日）第3期（決算日 2023年9月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「米国超長期プライム社債ファンド（奇数月分配型）」は、2023年9月15日に第3期の決算を行ないましたので、第1期から第3期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年3月16日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「米国超長期プライム社債マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	米国超長期プライム社債ファンド（奇数月分配型）	「米国超長期プライム社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	米国超長期プライム社債マザーファンド	米ドル建ての投資適格社債を主要投資対象とします。
組入制限	米国超長期プライム社債ファンド（奇数月分配型）	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	米国超長期プライム社債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のみから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<645081>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg US Credit Corp 20+ Yrs ex Baa Index (円換算ベース)		債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2023年3月16日	10,000	—	—	100.00	—	—	600
1期(2023年5月15日)	10,092	—	0.9	102.94	2.9	95.9	890
2期(2023年7月18日)	10,336	—	2.4	105.16	2.2	95.1	1,145
3期(2023年9月15日)	10,365	70	1.0	106.89	1.6	96.4	1,379

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 「Bloomberg US Credit Corp 20+ Yrs ex Baa Index」は残存期間20年超、かつAAA～A格相当の米ドル建て社債のパフォーマンスを表す指数です。同指数の（円換算ベース）とは、現地通貨建て指数をもとに、日興アセットマネジメントが円換算したものです。また、設定時を100として2023年9月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		Bloomberg US Credit Corp 20+ Yrs ex Baa Index (円換算ベース)		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第1期	(設定日) 2023年3月16日	円 10,000	% -	100.00	% -	% -
	3月末	9,955	△0.5	101.07	1.1	92.6
	4月末	10,102	1.0	102.69	2.7	94.4
	(期 末) 2023年5月15日	10,092	0.9	102.94	2.9	95.9
第2期	(期 首) 2023年5月15日	10,092	-	102.94	-	95.9
	5月末	10,211	1.2	104.16	1.2	95.6
	6月末	10,689	5.9	109.11	6.0	96.1
	(期 末) 2023年7月18日	10,336	2.4	105.16	2.2	95.1
第3期	(期 首) 2023年7月18日	10,336	-	105.16	-	95.1
	7月末	10,437	1.0	106.54	1.3	94.9
	8月末	10,560	2.2	107.89	2.6	94.5
	(期 末) 2023年9月15日	10,435	1.0	106.89	1.6	96.4

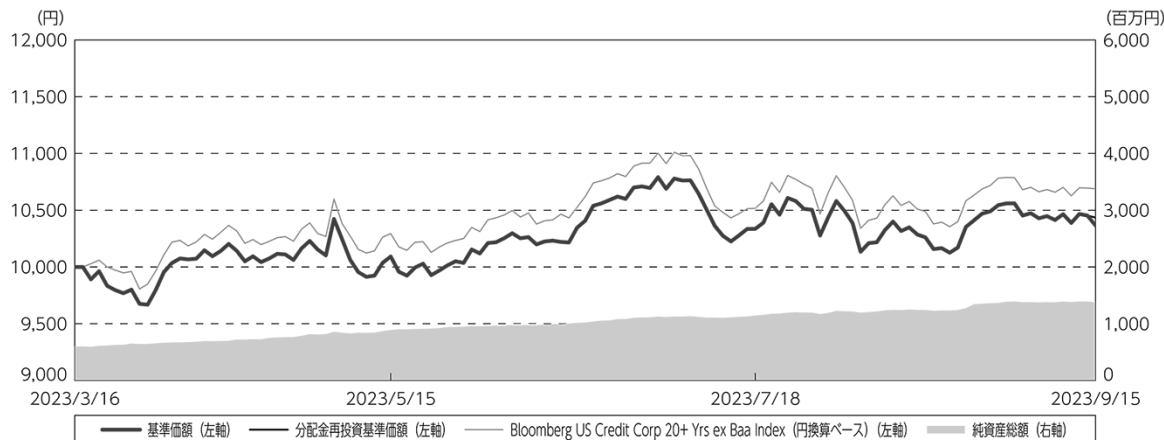
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2023年3月16日～2023年9月15日）

作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) Bloomberg US Credit Corp 20+ Yrs ex Baa Index（円換算ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) Bloomberg US Credit Corp 20+ Yrs ex Baa Index（円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国関連の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債（ハイブリッド債を含みます。）に実質的に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・信用スプレッド（利回り格差）が縮小したこと。
- ・発行体の選別が奏功したこと。
- ・アメリカドルが上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・金利が上昇したこと。

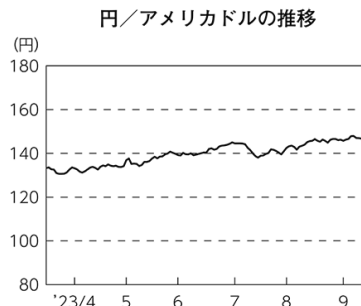
投資環境

（米国債券市況）

米国投資適格債の長期部分は、金利上昇局面で発行活動が後退するなか、供給の減少がサポート要因となりました。また、世界経済が減速するなかでも米国経済は持ち堪えており、信用スプレッドが縮小しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「米国超長期プライム社債マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

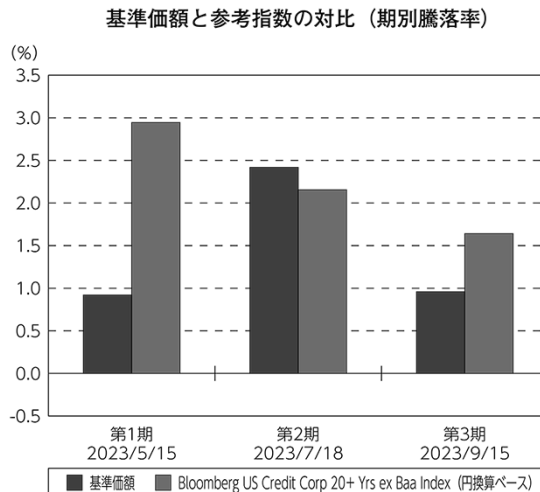
（米国超長期プライム社債マザーファンド）

期間中の当ファンドのパフォーマンスはプラスとなりました。米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の引き締めを継続するなか、パフォーマンスは金利の上昇がマイナスに影響したものの、信用スプレッドの縮小やアメリカドルの上昇によって相殺されました。足元の当ファンドのポートフォリオの利回りは5.41%（現地通貨ベース）、デュレーション（金利感応度）は15.05年、オプション調整後スプレッドは0.98%（現地通貨ベース）となっています。当ファンドの上位3セクターは、銀行、公益事業、ヘルスケアでした。発行体別の上位3銘柄は、Indian Michigan Power、Wells Fargo、Morgan Stanleyでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) Bloomberg US Credit Corp 20+ Yrs ex Baa Index（円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期	第2期	第3期
	2023年3月16日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年7月18日	2023年7月19日～ 2023年9月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	/	/	70 0.671%
当期の収益			60
当期の収益以外			9
翌期繰越分配対象額			364

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「米国超長期プライム社債マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（米国超長期プライム社債マザーファンド）

当ファンドでは、インフレは引き続き鈍化し、経済成長は今後数ヶ月のうちに減速すると予想しています。経済成長が鈍化することにより、金利は低下するとみています。米国の投資適格社債のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は、経済成長が減速するなかでも安定を維持し、信用スプレッドの下支えになると予想しています。

主として、米国関連の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債（ハイブリッド債を含みます。）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年 3 月16日～2023年 9 月15日）

項 目	第 1 期～第 3 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	39	0.382	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.171)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(20)	(0.194)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	8	0.075	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(5)	(0.047)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	47	0.457	
作成期間の平均基準価額は、10,325円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

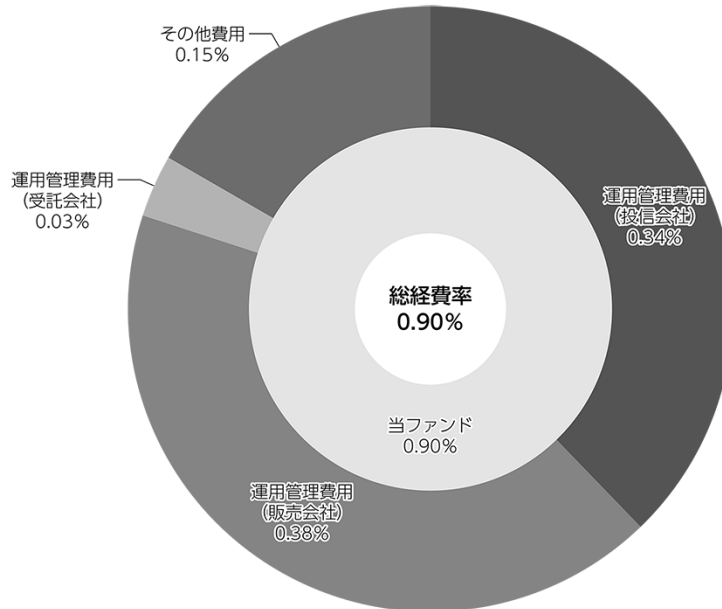
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年3月16日～2023年9月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第1期～第3期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
米国超長期プライム社債マザーファンド		1,287,635	1,305,339	5,533	5,777

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月16日～2023年9月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年3月16日～2023年9月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年3月16日～2023年9月15日)

設定時 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	当作成期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 600	百万円 —	百万円 —	百万円 600	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2023年9月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第3期末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
米国超長期プライム社債マザーファンド		1,282,101	1,344,924

(注) 親投資信託の2023年9月15日現在の受益権総口数は、2,084,125千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年9月15日現在)

項 目	第3期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国超長期プライム社債マザーファンド	1,344,924	96.7
コール・ローン等、その他	45,605	3.3
投資信託財産総額	1,390,529	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 米国超長期プライム社債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,178,610千円)の投資信託財産総額(2,214,626千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=147.62円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第1期末	第2期末	第3期末
	2023年5月15日現在	2023年7月18日現在	2023年9月15日現在
	円	円	円
(A) 資産	891,351,271	1,147,050,501	1,390,529,165
コール・ローン等	22,779,697	29,851,979	39,826,777
米国超長期プライム社債マザーファンド(評価額)	868,571,574	1,117,198,522	1,344,924,627
未収入金	—	—	5,777,761
(B) 負債	1,031,513	1,656,180	11,358,792
未払収益分配金	—	—	9,314,439
未払信託報酬	911,452	1,361,950	1,553,389
未払利息	8	43	28
その他未払費用	120,053	294,187	490,936
(C) 純資産総額(A-B)	890,319,758	1,145,394,321	1,379,170,373
元本	882,238,689	1,108,184,305	1,330,634,250
次期繰越損益金	8,081,069	37,210,016	48,536,123
(D) 受益権総口数	882,238,689口	1,108,184,305口	1,330,634,250口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,092円	10,336円	10,365円

(注) 当ファンドの設定時元本額は600,000,000円、第1～3期中追加設定元本額は740,410,340円、第1～3期中一部解約元本額は9,776,090円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第1期1.0092円、第2期1.0336円、第3期1.0365円です。

○損益の状況

項 目	第1期	第2期	第3期
	2023年3月16日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年7月18日	2023年7月19日～ 2023年9月15日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 769	△ 2,286	△ 3,310
受取利息	6	-	9
支払利息	△ 775	△ 2,286	△ 3,319
(B) 有価証券売買損益	8,320,587	23,268,929	13,983,733
売買益	8,320,587	23,268,929	14,048,849
売買損	-	-	△ 65,116
(C) 信託報酬等	△1,031,509	△ 1,541,350	△ 1,758,014
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,288,309	21,725,293	12,222,409
(E) 前期繰越損益金	-	7,288,309	28,780,673
(F) 追加信託差損益金	792,760	8,196,414	16,847,480
(配当等相当額)	(△ 76)	(2,606,613)	(9,914,694)
(売買損益相当額)	(792,836)	(5,589,801)	(6,932,786)
(G) 計(D+E+F)	8,081,069	37,210,016	57,850,562
(H) 収益分配金	-	-	△ 9,314,439
次期繰越損益金(G+H)	8,081,069	37,210,016	48,536,123
追加信託差損益金	792,760	8,196,414	16,847,480
(配当等相当額)	(589,359)	(3,213,057)	(10,679,513)
(売買損益相当額)	(203,401)	(4,983,357)	(6,167,967)
分配準備積立金	7,288,309	29,013,602	31,688,643

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2023年3月16日～2023年9月15日の期間に当ファンドが負担した費用は883,696円です。

(注) 分配金の計算過程（2023年3月16日～2023年9月15日）は以下の通りです。

項 目	2023年3月16日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年7月18日	2023年7月19日～ 2023年9月15日
a. 配当等収益(経費控除後)			8,082,019円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)			4,140,390円
c. 信託約款に定める収益調整金			16,847,480円
d. 信託約款に定める分配準備積立金			28,780,673円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)			57,850,562円
f. 分配対象収益(1万円当たり)			434円
g. 分配金			9,314,439円
h. 分配金(1万円当たり)			70円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第1期	第2期	第3期
1万口当たり分配金（税込み）	—	—	70円

○お知らせ

約款変更について

2023年3月16日から2023年9月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

米国超長期プライム社債マザーファンド

運用概要

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2023年3月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、米ドル建ての債券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	米ドル建ての投資適格社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、米国関連の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債（ハイブリッド債を含みます。）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

原則として、取得時において、債券の残存期間が20年超であり、かつスタンダード&プアーズ社またはムーディーズ社からA-格相当以上の格付が付与された社債を主要投資対象とします。

ポートフォリオの構築にあたっては、経済情勢に加え、発行体の信用力、利回りの水準、残存期間、投資対象銘柄の流動性などを考慮しながら、リスク分散を重視して決定します。また、市況動向およびファンドの状況などによっては、米国国債に投資する場合があります。

投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、債券先物取引などを活用することがあります。このため、債券の組入総額と債券先物取引などの買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント